『子どもに無煙（タバコの煙のない）環境を！』

たばこの煙で児童が中耳炎に

カルガリー大研究者発表

USA TODAY

【ワシントン＝スティーブ・スターンバーグ記者】3歳になる前に、家庭でたばこの煙にさらされた児童は、2倍の確率で深刻な中耳炎になる、とカルガリー大学（カナダ）などの研究者が発表した。

同大学などが、小学一年625人を調査したところ、23・9％が中耳炎を経験していた。

この調査によると①3歳前に2人以上の喫煙者と同居した児童は、そうでない児童と比べ、慢性的または何回も中耳炎になる可能性が1・85倍、②母親がたばこを1日10本以上吸う場合、中耳炎になる確率は1・68倍。

「たばこの煙の問題は、都市部の就学前の児童が中耳炎にかかる危険な要因だ。比較的裕福な家庭でも同じことがいえる」と研究報告書は述べている。ミシガン州立大学のデニス・ムレーレイ氏は「驚くことではない。子供がまわりにいるとき、喫煙すべきでないという理由か一つ増えただけだ」と言う。

児童の養育環境、食事内容、両親の収入などの影響を差し引いも、たばこの煙と中耳炎の関係は強く表れた。

児童が中耳炎になりやすいのは、中耳と肺の下部が継続的な空気の通り道になっているからだ。「どんな菌も運ばれてしまう」と、調査を行ったキャロル・アデール・ビショーフさん。「人の吸ったたばこの煙は、細胞組織に炎症を起こさせたり刺激を与え、ウイルスが増殖しやすい環境をつくる」と話している。

上毛新聞 1998 年（平成 10 年）**2 月 27 日**家庭欄 34 面

お願いです、
たばこやめて下さい。
自分のためにも！！